

訓練 1 患者発生時の連絡と保健所の対応（実地訓練） 13:00～14:20、Bホール

発言者等	発言・対応内容	備考
1 - 1 A診療所から保健所に第1報		
コントローラ	では、A診療所の医師から電話が保健所に入ります。	
病院職員 1	(A診療所に合図の電話をかける)	
診療所医師	(実際にA診療所から保健所の携帯に電話をかける)	
病院職員 1	(保健所の携帯電話の受けのスイッチを押してかごに入れる)	
診療所医師	21歳男性。インフルエンザ症状あり。迅速診断でA型陽性。B国より帰国したばかり。新型の可能性は？	
保健所感染症担当 1	新型インフルエンザの可能性があると思うが、県に確認してからお答えしたい。 基本情報、渡航歴、症状を教えてください。 (症例調査票を用いて聞き取る)	保健所はマイクで資料1に内容を記入
診療所医師	意識は正常。体温 40、血圧 150/90、脈拍 110、SpO2 94。ときおり激しく咳こんで呼吸苦しさを訴えるが、歩行可能。B国からは直行便で27日未明に成田空港に到着し、その日のうちにA村に来たようだ。	
保健所感染症担当 1	患者に次のことを伝えていただきたい。 ・保健所から調査をさせていただくかもしれない。 ・新型インフルエンザの可能性があると判断された場合は、佐久総合病院に受診してもらう。 ・連絡があるまで診療所に待機していただきたい。 患者に佐久総合病院までの交通手段があるかどうか聞いていただきたい。	
診療所医師	友人が自家用車で連れてきているので、佐久総合病院まで行ってもらえると思う。 その友人にはどう対応したらいいか。 診療所としてはどうしたらよいか。	
保健所感染症担当 1	とりあえず次のことをお願いしたい。 ・患者を他の患者から引き離す。(遮断と換気) ・患者と同伴者にサージカルマスクを着用させる。 ・診療所の窓を開けて換気を行う。 ・患者に接するスタッフはN95マスク、手袋、ガウン、ゴーグルを着用する。 ・標準予防策(手洗いうがい等)を徹底する。 ・来院者にサージカルマスク着用してもらう。 患者と空間を共有したスタッフ・来院者の個人名と連絡先を控えておく。 県に確認し、所内で検討してから改めて連絡したい。	
病院職員 1	(保健所の携帯電話の切りのスイッチを押してかごに入れる)	

1 - 2 保健所 県庁 厚生労働省 のルートで対応を確認		
コントローラ	さて、この時点で保健所はどうしますか？	
保健所感染症担当1	(コントローラに向かって回答する) 所長以下所内に報告する。 その上で、この患者を新型インフルエンザとして取り扱うべきかどうか県庁に相談する。	
コントローラ	では、相談を受けた県庁はどうしますか？	
県庁感染症担当1	(コントローラに向かって回答する) 国に問い合わせたい。	
コントローラ	では、相談を受けた厚生労働省はどうしますか？	
厚労省担当1	受け入れに適切な感染症指定医療機関等へ疑われる患者を十分な感染対策をとった上で受診させ、診断をすすめていただきたい。 感染していると疑うに足りる正当な理由がある者と考えられるが、所長が診断していない現状では感染症法第19条に基づく入院措置の対象とは決められない。	
コントローラ、保健所、県庁、厚労省	3者の対応について示されたが、互いに問い合わせたいことがあるれば、ここは自由に発言していただきたい。 診断がつかないままの移動になる見通しだが、ここは問題ないか。	時間を見て

1 - 3 保健所が所内で対応を検討		
コントローラ	患者の背景をまとめたスライドを示して要約 感染症指定医療機関で診断をすすめることになりました。これを受け、保健所はどうしますか？続けてください。	資料2
保健所所内会議	(進行：所長) 患者の状況、県庁・厚生労働省の方針は <u>お聞きのとおり</u> 。 患者の移動方法は？ 感染症担当1：友人の自家用車で 保健所の対応は？ 課長：関係機関への連絡（佐久総合病院、診療所、環境保全研究所、地方事務所） 感染症担当1：「疑い症例調査支援システム」入力 感染症担当2：検体搬送 保健師2：積極的疫学調査 上記対応の担当者は誰か？ ・現地に向かう職員の健康状況・予防接種状況を確認する。 今後のスケジュールを確認する。	実際には説明するが、ここでは省略する。

1 - 4 保健所から佐久総合病院に連絡		
コントローラ	保健所の所内会議が終わりました。次、どうしますか？続けてください。	
保健所課長	<p>佐久総合病院に連絡する。 (電話をかけるマネをしながら病院の席に向かって) 新型インフルエンザのことでご連絡差し上げたい。 (新型インフルエンザ担当者が出るのを確認して) 新型インフルエンザの可能性のある患者の受け入れをお願いしたい。</p> <p>・患者の状況はお聞きのとおりである。 患者が受診し次第、検体として咽頭ぬぐい液2本を早めに採取し提出するようお願いしたい。 患者にはいつ、どの場所からどのように受診してもらえばいいか教えていただきたい。 また、同伴者がいる場合には、どこでどのようにして待機してもらえばよいか、教えていただきたい。</p>	<p>マイクで会話する</p> <p>実際には説明するが、ここでは省略する。</p>
病院部長	<p>患者の受け入れ及び検体の採取を了解した。 自家用車で来る場合には、救急外来の横に直接車を付けてほしい。そこに病院の受付職員が待っている。午後2時20分に受診してほしい。 車はそのまま外の駐車場に移動してもらい、同伴者はその中で待機していただきたい。</p>	
保健所課長	<p>患者・同伴者が病院の近くまで行ったら、どちらかが病院に電話して受診場所・方法を確認するよう伝えるので、その際にはよろしくをお願いしたい。 その連絡先はどなたになるか？電話番号は？</p>	
病院部長	<p>了解した。 病院の担当は 医師となる。電話番号は、0267-82-3131。</p>	
コントローラ、病院、保健所	課題やその他に想定される事態について提示し、病院、保健所が回答する。	時間を見て

1 - 5 保健所から A 診療所に連絡		
コントローラ	佐久総合病院への連絡が終わりました。次、どうしますか？続けてください。	
病院職員 1	(保健所の携帯で A 診療所に電話をかけ、かごに入れる)	
保健所感染症担当 1	佐久総合病院が患者を受け入れることになったので、患者に対して受診と入院を勧めていただきたい。 ・もし、先生からお伝えすることがむずかしいようであれば、保健所から説明する旨を補足する。	マイクで会話する
診療所医師	佐久総合病院の受診と入院については、本人に先ほどちょっと言っておいたが、よく理解しているようだ。	
保健所感染症担当 1	患者の移動方法を確認したい。 ・他の人への感染を防ぐため、公共交通機関の使用を避けていただきたい。 ・自家用車が一番いいのだが、それは可能か？	
診療所医師	同伴している友人の車で来ているということで、友人が病院まで乗せてってくれるようである。	
保健所感染症担当 1	では、同伴者の車でお願いしたい。次の点を注意していただきたい。 ・患者、同伴者ともにマスク着用する。 ・寒いかもしれないが、窓を開けて走る。 ・患者は、運転手から一番離れた席に座ってもらう。 佐久総合病院に午後 2 時 20 分に行っていただきたい。救急外来の横まで車で行けば、そこに病院の職員が待っていてくれる。 確実に連絡を取り合うため、同伴者の携帯番号を教えていただきたいが、どうか？ ・保健所の方は、090-1111-1111 である。患者と同伴者に教えていただきたい。	
診療所医師	同伴者は、090-3333-3333 である。	
保健所感染症担当 1	患者が同伴者をお願いしていただきたい。 ・病院が近づいたら、直接病院に連絡をとってもらい、到着時間と場所を確認すること。 また、同伴者には他者との接触を控えるよう、説明していただきたい。	
診療所医師	診療所の消毒などは、どうしたらいいか？ かなり不安になっている職員もいる。	
保健所感染症担当 1	患者が触れたドアノブ、テーブルなどの場所、痰や飛沫が飛んでいる床などを消毒する。 ・詳細な方法が必要であれば、FAX でお送りしたい。 診療所で患者と接触したスタッフと他の患者をリストアップしておいていただきたい。 ・現時点ではまだ任意のお願いだが、仮に新型インフルエンザかその疑いと診断された場合にすぐに使えるよう、今から準備しておいていただくとありがたい。 ・様式がなければ FAX でお送りしたい。	資料 3 資料 4

	<p>これから佐久総合病院で検体を採取し、環境保全研究所で検査を行う。12時間かかるので、早ければ今日、遅くとも明日には結果がわかる。もし、新型インフルエンザと診断されれば、次の対応をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者を法的入院に切り替える。 ・接触者調査を開始する。診療所が作成した名簿をいただくことになる。 ・接触者に対して抗インフルエンザ薬の予防投与を行うことになる。 <p>診療所は診療を継続してよい。</p>	
病院職員 1	(保健所の携帯電話の切りのスイッチを押してかごに入れる)	
コントローラ、保健所	課題やその他に想定される事態について提示し、保健所が回答する。	時間を見て

1 - 6 保健所の準備		
コントローラ	A 診療所への連絡が終わりました。保健所ではこれからどうしますか？	
保健所感染症担当 1	<p>「疑い症例調査支援システム」を入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の状況をパソコンに入力する。 	
保健所感染症担当 2	<p>環境保全研究所に連絡する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の状況を伝える。 ・検体の数、搬送方法、搬送時間を確認する。 <p>検体搬送の準備を行う。 (実物を見せながら)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベル、採取容器・綿棒(「実際にはあらかじめ病院に渡してある」と説明する)、搬送ボックス(2次、3次、クーラーボックス、保冷剤、キムタオル)、PPE(ガウン、N95 マスク、手袋、アルコール消毒薬、ゴミ袋)の準備 	あらかじめイスの横に準備しておき、保健師 4 が提示
保健所保健師 5	<p>積極的疫学調査の準備を行う。 (実物を見せながら)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPE 等準備(N95、ガウン、フェースシールド、キャップ、手袋、アルコール消毒薬を個人ごとに) ・調査用紙、筆記用具、説明用パンフ 	あらかじめイスの横に準備しておき、保健師 1 が提示する

1 - 7 PPE を装着する		
コントローラ	<p>それでは、保健所の職員は、PPE を装着してください。</p> <p>なお、実際には病院の救急外来の一室で装着することになります。</p>	資料 5
保健所感染症担当 2、 保健師 1・5、 3・4	<p>(PPE を装着する。疫学調査班はお互いに装着を確認する)</p> <p>(着る順番：ガウン キャップ N95 フェースシールド 手袋)</p> <p>(PPE を装着したまま、保健所席に戻る)</p>	保健所長が補足説明をする。

1 - 8 訓練 1 全体を通して		
コントローラ、病院、保健所、県庁、厚労省	<p>課題やその他に想定される事態について提示し、診療所、病院、保健所が回答する</p> <p>1) 診療所の感染対策に問題はなかったか？</p> <p>2) 診療所は診療を継続してよかったか？</p> <p>3) 入院前ということで患者がコンビニ等に立ち寄るリスクは考慮されていたか？</p> <p>4) 患者が行方不明となる可能性について配慮されていたか？ ナンバープレートは控えているか？ 警察との連携は？</p>	時間を見て

1 - 9 救急外来への移動		
コントローラ	それでは、訓練 2 を行いますので、関係者は救急外来に移動してください。	
病院・保健所・患者・同伴者	<p>(救急外来に移動する。)</p> <p>(患者・同伴者は、教育ホールのところ止めてあった病院公用車に乗り、待機している)</p>	

訓練 2 病院の診察と保健所の調査（実地訓練） 14:20～15:00、救急外来、Bホール

コントローラは、Bホールにいて状況を見学者等に説明している。

現場確認等のために保健所長が救急外来へ。病院の関係職員も救急外来へ。

訓練は区切らず行う。

開始の合図は病院職員 1 が公用車と救急外来にピッチで開始を合図する。

発言者等	発言・対応内容	備考
2 - 1 患者の受け入れ : 救急外来・入り口		
コントローラ	訓練 2 は、患者と同伴者が病院に到着し、診察を受ける場面です。 診察を行う救急外来には陰圧装置を備えた診察室があり、そこで患者の診察と保健所による調査が行われます。	資料 6
病院職員 2	(PPE を装着し、救急入り口から患者を待つ。)	
患者・同伴者	(同伴者が運転する車を救急外来に横付けする。) (患者は、車から降りる。)	病院公用車
病院職員 2	同伴者をお願いしたい。 ・車は救急外来の横にとめ、車内で待機している。	
患者、病院職員 2	(職員に誘導され、救急外来の自動ドアから中に入り、診察室に入る)	

2 - 2 診察・検体の採取 : 救急外来・陰圧診察室		
病院医師・看護師	診察を担当する です。 どんな症状がいつから出たか？	
患者	昨日までは元気だったけど、今朝から 40 度の熱が出て、とても体がだるい。咳がひどくなってきた。咳をすると息苦しくなる。	
病院医師	外国から帰ってきたばかりと聞いたが・・・。	
患者	B国からおととい帰国し、そのままA村に来た。	
病院医師	ちょっと診察させてください 一連の診察を行う。聴診も行う。 呼吸数 24、脈拍 110、血圧 130 / 80	
病院看護師	外耳より体温測定し、「39.3 」と発声。 指にサチュレーションモニターを着ける。「94」と発声。	
病院医師	新型インフルエンザが発生している国から帰ってきたばかりで、インフルエンザ症状が認められるので、新型インフルエンザの可能性がある。 ・喉の検査をさせてもらい、それを保健所に提出したいが、いいか？ ・検査の結果がはっきりするまでこの病院に入院してほしいが、いいか？ ・詳しいことはあとで保健所の方から説明がある。	
患者	お任せします。	
病院医師	では、口を大きく開けてください。少し「オエッ」としますよ。 (検体を取る格好をして、綿棒をスピッツの中に入れて、看護師に渡す。これを2本行う)	
病院看護師	(手を消毒してからスピッツの回りを消毒し、尿コップに立てる) 保健所さん、検体が取れたので、お願いします。長野太郎さんの咽頭ぬぐい液2本です。病院が提出する検体送付票は後で作成して提出します。	資料 7
保健所感染症担当 2	(診察室の入り口に近づき、検体を受け取る)	病院医師が退室するまで作業せず。
病院医師	では、保健所の方から説明と聞き取りがあるので、協力してほしい。その後、3階の方に入院していただきたい。薬はその時にお渡しする。お大事に。 (退室し、Bホールに移動)	病院・看護師は診察室に残る。

2 - 3 検体の受け取り・搬送 : 救急外来・陰圧診察室外の廊下	
保健所感染症 担当 2	<p>(受け取った検体の尿コップをゴミ袋に入れてテーブルに置く)</p> <p>(手をアルコール消毒し、1次容器の外側をアルコール清拭し、アルコール綿はゴミ袋に捨てる)</p> <p>(1次容器にラベルを貼り、2次容器に入れる)</p> <p>(もう1本同様に処理する)</p> <p>(手袋をはずし、ゴミ袋に入れて、外側から閉じ、廊下のハザードボックスに捨てる)</p> <p>(2次容器のふたをしめ、3次容器(バイオハザードマーク)に入れ、クーラーボックスに入れる)</p> <p>(ガウン、N95マスクをはずし、廊下のハザードボックスに捨てる)</p> <p>(自動ドアから外に出てBホールに移動する)</p>

2 - 4 患者への説明と聞き取り(積極的疫学調査) : 救急外来・陰圧診察室		
保健所保健師 1、5	<p>(診察室に入り、あいさつ・自己紹介する)</p> <p>新型インフルエンザが発生している国から帰ってきたばかりで、インフルエンザ症状が認められるので、新型インフルエンザの可能性はある。</p> <p>詳しいことはパンフレットに書いてあるので、見てください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査は12時間かかるので、今日か明日には結果が出る。 ・検査の結果がはっきりするまでこの病院に入院していただきたい。強制はできないが、できれば協力していただきたい。 <p>もし、検査の結果、新型インフルエンザかその疑いがあると診断された場合には、法律に基づく入院となる。</p> <p>今の時点であなたの行動とあなたに接触した人をお聞きしたい。いやであればこちらも無理にとはいえないが、感染を広げないために今から協力してほしい。</p> <p>もし、新型インフルエンザかその疑いがあると診断されると、こちらも法律に基づく調査に切り替わる。</p> <p>今の時点で入院することとあなたの行動・接触者を聞かせていただくことについて、よろしいか?</p>	資料 8
患者	お任せします。	
保健師 1、5	<p>では、あなたの行動と接触した人のことを教えてください。</p> <p>(ここでフェードアウトし、ちょっと間をおく)</p> <p>いろいろ教えていただき、ありがとうございました。</p> <p>では、入院して病気をしっかり治してください。</p> <p>では、看護師さん、よろしくお願ひします。</p> <p>(診察室を出て、Bホールに移動する)</p>	<p>資料 1</p> <p>資料 9</p> <p>コントロ ーラ「聞き取 りの内容を かなり省略 しています」</p>

2 - 5 患者が病棟へ移動 : 救急外来・入り口横の階段へ		
患者、病院医師	では、病室に行きましょう。 (患者を伴って救急外来・入り口横の階段へ移動する)	

2 - 6 同伴者への説明と聞き取り(積極的疫学調査) : 救急外来・陰圧診察室		
保健所保健師 3・4	(PPE を装着した状態で救急外来横の車に待機している同伴者に声をかけ、陰圧診察室に誘導する)	コントロール「実際には車で行う方法もある」と説明。 資料 10 資料 11 資料 12
同伴者	(サージカルマスクを装着した状態で診察室の中に入る)	
保健所保健師 3・4	(あいさつ、自己紹介する) 新型インフルエンザが発生している国から患者が帰ってきたばかりで、インフルエンザ症状が認められるので、新型インフルエンザの可能性がある。 最初の検査の結果が今日か明日には出る。新型インフルエンザの疑いがあるかどうか分かる。疑いがあれば、さらに詳しい検査を行うことになる。それは2、3日かかる。 検査で陰性がはっきりするまで、お願いしたいことがある。詳しくはパンフレットに書いてある。 ・健康観察をしてほしい。体温記録用紙を渡すので、毎日検温と記録してほしい。今日から10日間。 ・その間、毎日、保健所から健康状態を電話で聞くので、教えてほしい。 ・外出、他者との接触を控えてほしい。 ・車や部屋の中で、患者が触れた所を消毒してほしい。 ・熱や咳、だるいなどの症状がでたら、すぐに保健所に連絡してほしい。電話番号は、090-1111-1111である。 今日は、帰宅してよい。	
同伴者	(陰圧診察室を出る)	

2 - 7 PPE を脱ぐ : 救急外来・陰圧診察室外の廊下		
保健所保健師 3・4	(陰圧診察室を出て、外の廊下に移動する) (持ち物を廊下の作業机に置き、PPE を脱ぐ) (脱ぐ順番: 手袋 ガウン フェースシールド N95 マスク キャップ) (一動作ごとにアルコール消毒する) (Bホールに移動する)	資料 5 コントロール「本来は、救急外来入り口横の階段室で行う」と説明。

2 - 8 医師との情報交換 : Bホール・あいさつ席で		
保健所保健師 1・5	先生の診察の結果を教えてください。	
病院医師	症状は、39.3度の発熱と倦怠感、咳。 聴診上、問題なし。サチュレーションは94で、頻呼吸がある。	
保健所保健師 1・5	環境保全研究所での検査結果が当日または翌日に出る(約12時間後) ・もし、H亜型が判明すれば、東京に検体を送ってN亜型を調べることになる。 検査の結果、新型インフルエンザかその疑いと診断されると、次の対応を取るようになる。 ・感染症法に基づく届出をお願いしたい。 ・感染症法に基づく入院勧告を行う。 ・経過を確認させていただく。	

2 - 9 保健所としての総括 : Bホール		
保健所職員	(所内会議を開催する形で席に着く)	
保健所長	(以下の項目をスライドで説明する) 患者についてわかったこと ・症状・所見 ・検査：H亜型、N亜型が判明する予定 ・行動 ・接触者：帰国からA村まで。A村内。A診療所。 同伴者についてわかったこと ・症状 ・行動 今後の予定 ・患者が接触した場所の消毒 ・接触者への対応 ・予防投薬の実施 ・同伴者への対応 ・新型インフルエンザかその疑いと診断された場合の対応 法的対応への切り替え	資料 13

2 - 10 訓練2全体を通して : Bホール		
コントローラ、診療所、病院、保健所	課題やその他に想定される事態について提示し、診療所、病院、保健所が回答する。	時間を見て
コントローラ	それでは、訓練3を行いますので、関係者は会場の準備をしてください。それまで休憩とします。	

訓練 3 公衆衛生的介入の検討（机上訓練） 15:00～16:00、Bホール

発言者等	発言・対応内容	備考
3 - 0 最初に		
コントローラ	今回の事案をまとめたスライドにより説明する。 A村の地理的状況は別添図のとおり。 これから、いくつかの課題を提示するので、保健所、病院、県庁、厚生労働省の間で議論をお願いしたい。	資料 14 資料 15

3 - 1 「佐久総合病院の診療体制はどのように変更するか??」		
参加機関による検討		

3 - 2 「佐久総合病院のスタッフの予防内服はどうするのか？」		
参加機関による検討		

3 - 3 「予防内服の範囲をどのようにするか？」

参加機関による検討		
-----------	--	--

3 - 4 「A村を対象とした公衆衛生的対応をどうするか？」

参加機関による検討		
-----------	--	--

総括・講評 16:00～17:00、Bホール

発言者等	発言・対応内容	備考
4 - 1 司会から		
コントローラ	それではこれから総括・講評を行う。	

4 - 2 参加機関から感想等を発表		
病院	(5 分程度)	
保健所	(5 分程度)	
県庁	(5 分程度)	
厚労省	(5 分程度)	
コントローラ	(5 分程度)	

4 - 3 助言者から講評		
押谷先生	(15 分程度)	

4 - 4 質疑		
コントローラ が司会	(15 分程度)	

4 - 5 総括		
コントローラ		